

転倒災害が増加中！



STOP！ 転倒災害

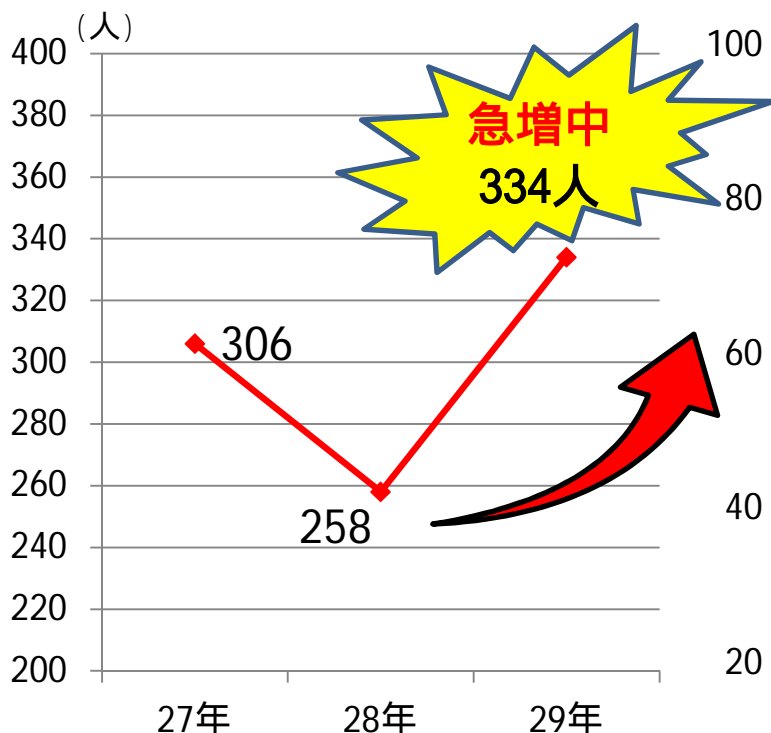
転倒による労働災害が増えています。点検・対策の徹底・安全衛生教育に取り組んでください。

今年(平成29年)労働災害が増加しており、中でも転倒災害が大幅に増加しています。

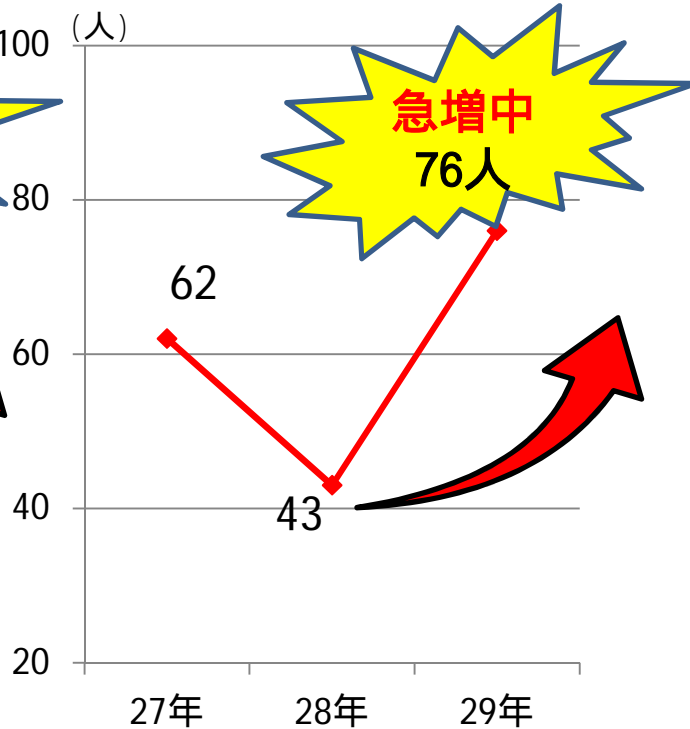
特に高齢者が転倒した場合は重症化する割合が高いことなども踏まえ、転倒災害防止対策が十分か点検し、転倒災害防止措置の徹底に加えて、労働者に対する安全衛生教育を実施してください。

◆労働災害発生状況(5月末速報値比較)

休業4日以上之死傷災害
(全災害)

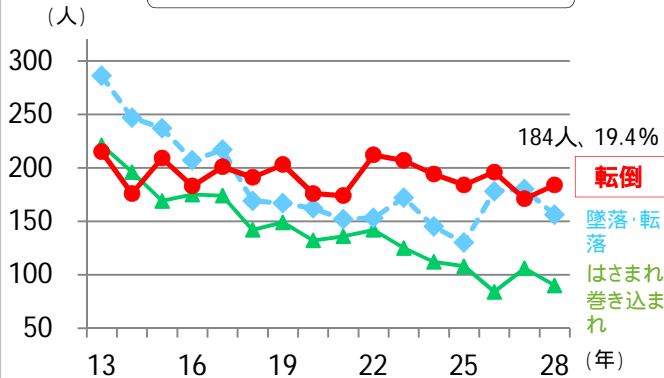


転倒災害



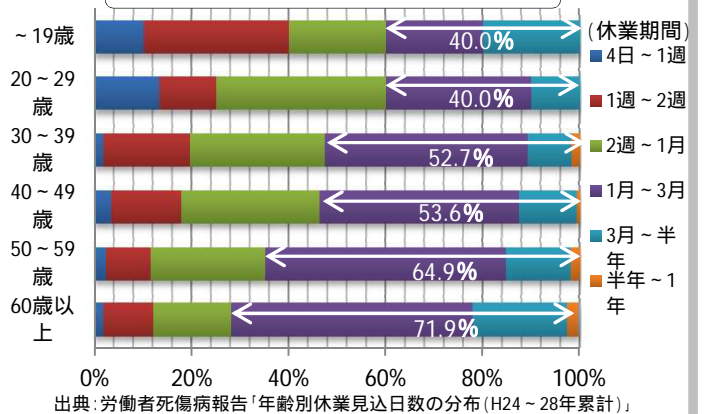
高知県の転倒災害の傾向

転倒災害は労働災害の種類では最も多くなっています

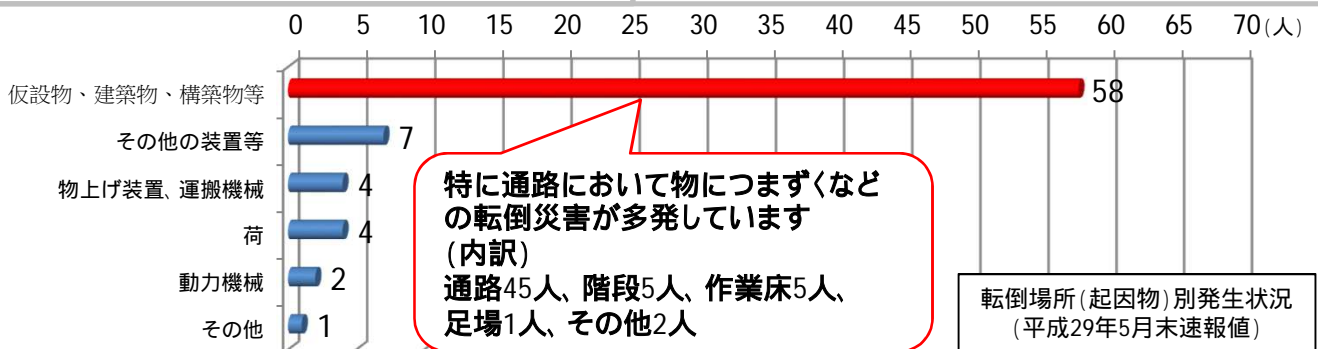


出典:労働者死傷病報告「事故の型別死傷者数の推移」

高齢者が転倒した場合は、重症化する割合が高くなっています



出典:労働者死傷病報告「年齢別休業見込日数の分布 (H24~28年累計)」



特に通路において物につまずくなどの転倒災害が多発しています (内訳)
 通路45人、階段5人、作業床5人、足場1人、その他2人

転倒場所 (起因物) 別発生状況 (平成29年5月末速報値)

転倒災害事例

業種	災害の発生状況
小売業	 <p>惣菜バックルームにて、うなぎ重製造作業中に、うなぎを取りに小走りで走ったところ、水滴と油で滑りやすくなっていた洗い場前で滑って転倒した。</p>
ケガの程度	
休業3カ月	
対策のポイント	
作業の都度、床の油などは放置せず取り除く	滑りにくい靴底の履物を着用する
業種	 <p>傾斜になった通路を移動中、落ちていたプラスチックプレート踏みつけ、プラスチックプレートが滑って転倒した。</p>
製造業	
ケガの程度	
休業1カ月	
対策のポイント	通路に物を置かない、整理・整頓をする 危険箇所には表示して注意を促す
作業通路を定め、定期的に職場を巡視する	
業種	 <p>洗濯物を入れる大きな袋を持ち上げて階段を降りようとしたときに、袋の裾を踏み転倒した。</p>
医療業	
ケガの程度	
休業1カ月半	
対策のポイント	運ぶ荷物を小分けにするなど足元が見えるようにする 危険箇所には表示して注意を促す
大きな荷物を運ぶときは台車を使用する 階段の昇降はゆっくり心がける	

転倒災害の種類と主な原因

転倒災害は、大きく3種類に分けられます。あなたの職場にも、似たような危険はありませんか？

滑り



[主な原因]

- 床が滑りやすい素材である
- 床に水や油が飛散している
- ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている

つまずき



[主な原因]

- 床の凹凸や段差
- 床に放置された荷物や商品など

踏み外し



[主な原因]

- 大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での作業

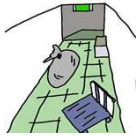
転倒災害防止対策のポイント

転倒災害防止対策により安心して作業が行えるようになり、作業効率が上がります。できるところから少しずつ取り組んでいきましょう。

設備管理面の対策

[4S(整理・整頓・清掃・清潔)]

- ◆ 歩行場所に物を放置しない
- ◆ 床面の汚れ(水、油、粉等)を取り除く
- ◆ 床面の凹凸、段差等の解消



転倒しにくい作業方法

[あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて]

- ◆ 時間に余裕を持って行動
- ◆ 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
- ◆ 足元が見えにくい状態で作業しない



その他の対策

- ◆ 作業に適した靴の着用
- ◆ 職場の危険マップの作成による危険情報の共有
- ◆ 転倒危険場所にステッカー等で注意喚起



[コラム] 正しい靴の選び方

靴は、自分の足に合ったサイズのものを使いましょう。小さすぎる靴では足指が動かしにくく、バランスを崩したときに足の踏ん張りがきかなくなります。逆に大きすぎる靴では、歩行のたびに足が前後斜めに動いて、靴のつま先やかかとが、足の動きに追従できなくなります。

以下のポイントにも注意して、作業に合った靴を選びましょう。

靴の屈曲性

靴の屈曲性が悪いと、足に負担がかかるだけでなく、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。



靴の重量

靴が重くなると、足が上がりにくくなるため、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。靴が重く感じられる重量には個人差がありますが、短靴では900g/足以下のものをお勧めします。

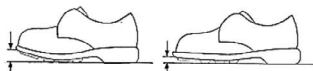
靴の重量バランス

靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につま先部が上がりにくく(トゥダウン)、無意識のうちに擦り足になりやすく、つまずきを生じやすくなります。



つま先部の高さ

つま先部の高さ(トゥスプリング)が低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。高齢労働者ほど擦り足で歩行する傾向があるため、よりつまずきやすくなります。



靴底と床の耐滑性のバランス

滑りやすい床には滑りにくい靴底が有効ですが、滑りにくい床に滑りにくい靴底では、摩擦が強くなりすぎて歩行時につまずき場合があります。靴底の耐滑性は、職場の床の滑りやすさの程度に応じたものとする必要があるので、靴はできるだけ履いてみてから選定することをお勧めします。

転倒災害防止対策のチェックシート

あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、 その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	段差のある箇所や滑りやすい場所などに 注意を促す標識をつけていますか	<input type="checkbox"/>
4	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が 確保されていますか	<input type="checkbox"/>
5	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい 場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
6	職場巡視を行い、通路、階段などの状況を チェックしていますか	<input type="checkbox"/>
7	荷物を持ちすぎて足元が見えないことは ありませんか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、 携帯電話を使いながら歩いていませんか	<input type="checkbox"/>
9	作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか	<input type="checkbox"/>
10	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を 取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

チェックの結果はいかがでしたか？ 問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。

どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合いましょう！

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！
「STOP！転倒災害プロジェクト」

STOP！転倒

検索